

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
今別町	鍋田地区(鍋田、関口、村元、山崎)	令和3年3月12日	令和3年3月12日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	34.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	30.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) 鳥獣被害が多く、基本的に野菜作付けなどは収穫直前に被害があるため、水稻や牧草など被害が少ない作物しか作れない。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・9割以上の方が、若年の農業者が減少し、高齢化が一層進むことで農地が利用されず耕作放棄地が増加する可能性がある。 ・農地に対する地区内担い手が少なく、貸し希望に対し借受体制が整わない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である認定農業者数名への集約化を行うため、鳥獣被害や農地条件を考慮し畜産農家への牧草地等の活用促進を図る。
--

(参考) 中心経営体 13戸

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・畜産担当及び農業委員会と連携し、集約化を促進する。
--